



# 寿光園だより

第 0062 号  
平成28年11月 発行  
制作: 寿光園広報担当  
<http://www.jyukouen.or.jp/>



## お月様のようにまあるい笑顔

まだ初秋のように暖かい陽気に恵まれる日もありますが、日を追うごと寒い日も増えてきて、寿光園においても膝掛けや暖房が欠かせない毎日になってきております。少し月日は過ぎますが、利用者様に季節を感じてもらおうべくススキを花瓶に飾り、お月見団子も用意して「中秋の名月」として園内に飾らせていただきました。団子とススキを見ながら、「昔は里芋の煮物も一緒にお供えしたんだ」と昔ながらのお月見の風景を教えて下さる利用者様もおられました。ススキとヨシ、カヤの違いを教えて下さる利用者様もおられました。幾つになっても秋の夜空に浮かぶ満月を眺めるのは良いもの。肌寒くなると外を散歩しづらい利用者様も増えてくると思います。ススキやお団子で季節を感じていただけたなら幸いです。



## 寿光園 中庭の小さな秋



寿光園の中庭にも小さな季節があります。春になるとツバメが巣を作って飛び交い、秋になれば片隅で彼岸花が幾つも咲いてくれます。



とある休日の午前中、施設の外側から子供の声や「わっしょい! わっしょい!」と威勢の良い掛け声がゆっくりと近づいてきました。廊下を歩いて散歩している利用者様も窓の外を見てびっくり。地域の子供達が法被を着て、秋のお祭りとして皆で御神輿を担いでやってきてくれたのでした。元気いっぱいのかげ声に自分達の孫を思い出す様に目を細めて、子供達と声を合わせて「わっしょい!」と叫んでおられました。



## 寿光園・園長より皆様へ

収穫の秋を迎えると、例年なぜか『ホッ』とした心地になり、喜びを感じるこの頃、皆様には健やかな日々をお過ごしになっておられることと同慶に存じます。さて、地球温暖化に始まり、地球規模での環境の変化が世界各地で自然界における異常現象を表しており、多くの人々に被害をもたらしています。私たちが求めている文化的な生活への変化がこの地球に大きな影響をもたらしていると科学者は警鐘を鳴らしており、私たち人間が、輸入に依存する食生活を含め、生活全般における見直しとモノを大切に使用するなど節度ある生活の実践を求められているのだと思います。

また、日本には四季があり、秋の『日本晴れ』が当たり前でしたが、晴れ間の機会も少なく、『天高く、馬肥ゆる秋』という言葉も昔のコトバになってしまったかのようです。そのような状況下にあっても、やはり、収穫の秋は私たちの心に豊かさを育んでくれます。特に、福島県は全国第3位の面積を有しており、その3分の1で作付される『米』の収穫量は、全国でも上位にランクされています。しかも、毎年、日本穀物検定協会が公表している『ご飯の食味ランキング』でも常に『特A～A』の評価を得ており、東日本大震災・福島原発問題で稲の作付けができない地域がある中であって、大変立派なこと各農家の方々のご労苦に喝采を贈り、感謝して毎日の食事をさせていただいております。

一方、介護をめぐる環境も大きく揺れ動いておりまして、これから高齢者の増加に伴い介護人材の確保や新たに参入する人材のキャリアアップを図ること等、課題をクリアして参らなければなりません。全国組織である全老協は、各事業所の介護職に対する指導・育成及び施設における適切なサービスの提供を管理していくために『チームリーダー』が必要であると言及しています。わたしたちもよりよい、地域から求められる施設として脱皮し、成長して参りたいと存じます。そのような私たちに叱咤激励をいただけますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



寿光園園長・黒河内 滋



## 結核という病気をご存じですか？

ハンセン病と並び、戦時中など近世を舞台にしたドラマ等で描写される劇中にて「結核」という病気を知っている方も多いでしょう。医療や抗生物質が発達した現代においては梅毒や天然痘とともにほぼや根絶された病というイメージを持っている方も多いでしょう。しかし現実としては、日本における結核患者がWHO基準にて「中蔓延」となっています。単純計算で毎日58人の新規患者が発生して、なかには死亡するケースもあります。そのほとんどは若い頃に感染しても発症せず、免疫の低下しはじめる70歳前後に発症する方です。しかし30歳前後等においても発症してしまい、また受診が遅れて家族に感染が広がる事例も報告されています。



### こんな症状に注意!!

- 微熱や咳が2週間以上続く
- 痰が出る（痰に血がまざる）
- 息切れが増え、急に体重が減る
- 倦怠感が慢性化し、寝汗もかく



寿光園医務室においても感染症や流行等の情報をこまめに収集していち早く対策を取ることで、利用者様の日々の健康の確保に努めていきたいと思っております。



「11月中旬より居室等への面会場所の制限」  
「外部から来園した際のマスク着用や手指消毒」  
ご協力よろしくお願いたします。

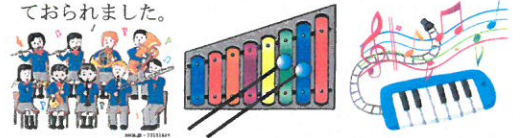


矢吹幼稚園

矢吹小学校

### 私達の練習の成果、見て下さい!!

8月と9月に、それぞれ矢吹小学校と矢吹幼稚園の子供たちが来園され、寿光園食堂ホールにて利用者の皆様に演奏会を披露してくれました。幼稚園児の元気いっばいな歌と踊りに利用者様達も一緒に手を動かして喜んでおられました。また、小学生が様々な楽器を手にプロのオーケストラさながらの演奏をはじめた時は、最初はびっくりしていたものの、そのしっかりとした演奏に静かに耳を傾けて、それが終わるとたくさんの拍手を送っておられました。

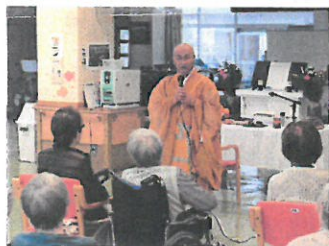


また9月初旬には体験学習もありました。利用者様が施設においてどのように日々を暮しているのか、介護現場を短いながらも実際に体験して感じた事も多くあったのではないのでしょうか。車椅子を押したり、話し相手になったり、本当にありがとうございました。



### 敬老会

9月23日、寿光園食堂ホールにて矢吹町からの来賓を招いての「平成28年度敬老会」を開かせていただきました。今年は11月中旬に100歳となる利用者様も当施設に在籍しておられ、祝辞と花束も両手でしっかり受け取っていただきました。出席された他の利用者様におかれましてもマイクをしっかり握って若い私達にも負けないスピーチを披露されました。長生きの秘訣とはなんなのでしょうか。「しっかり良く噛んで食べること」「若い人と積極的に会話を行う」などと教えてくださいました。いつも元気な笑顔を見せてくださり本当にありがとうございます。



お盆に引き続き、僧侶の方を招いての秋彼岸法要を執り行なわせていただきました。お坊様の話はいつ聞いても含蓄があり、納得できるものばかりですね。たかが説法されど説法。小さな話の中に学ぶことはたくさんあります。

### 来園してくださったボランティアの皆様

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 7/9 三神日赤奉仕団  | 10/1 二区子供会神輿       |
| 8/4 矢吹小学校吹奏楽 | 10/18 矢吹小ボランティア委員会 |
| 9/3 中畑日赤奉仕団  | 毎月 芸能奉仕会           |
| 9/30 矢吹幼稚園   | 毎月 しらうめ荘           |

担当者よりご家族様へ

入所者名: 様  
担当職員: